

第8号の刊行にあたって



中央大学理事長 足立 直樹

日頃、本学の運営について学員の皆さまをはじめ、学生、ご父母、教職員の皆さまのご協力とご支援、ご理解を賜り心から感謝申し上げます。

この「中央大学の近況」は中央大学の現在を知っていただくための広報誌として2009年5月に創刊し、今号で8回目の発行となります。本冊子は、より多くの方々に、手軽に本学を理解していただくために、Web版と電子書籍での発行を行っております。あわせて従来の冊子による発行も、必要に応じて当面継続することにいたしました。ご不便をおかけする面もあるかと存じますが、なにとぞご理解のほどお願い申し上げます。

さて、昨年生じました横浜山手中学校入学試験に関わる諸問題について、多くの方々からご意見を賜りました。その後も理事会といたしまして、この事件の真の意味での解決に向け努力しております。現在、学校法人のガバナンス機能の再構築に向け、現状の点検を進めながら、規定や規則の改廃に向けた取り組みを行っているところです。理事長として、今後も中央大学発展のためになすべきことを、様々な方の意見に耳を傾けながら確実に実践してまいる所存です。

なお、すでに本学Webサイトでお知らせしておりますとおり、本学は2013年6月3日開催の理事会において、総長・学長 福原紀彦より総長職を辞任する旨の申し出があり、これを了承し、常任理事 遠山 暁を総長職務代行として選任いたしました。

グローバル化が進むなかで、企業間、国家間の競争の激化にともない、創造性やリーダーシップに富む「人財」が今まで以上に求められていることは、企業経営に携わる者として日々実感しております。こうしたなかで、日本人として、諸外国の人々と意思疎通ができ、意見の相違を認識しながら、同じ目的のためにその違いをまとめる議論ができる「人財」が必要であると考えています。そのためには、教養を磨き、専門性を高め、それらをわかりやすく説明する訓練が必要であり、その能力を大学の教育と学生生活のなかで、学生自身が検証しながら培えるシステムが欠かせないと思います。

法人・教学一体となった施策をこれからも追求し、学生の育成を支援してまいりたいと存じますので、今後もよりいっそうのご指導ご鞭撻、ならびにご協力をお願い申し上げます。